



# 消防千葉

2022 No.590 令和4年9月号

## 目次

巻頭言 (安房郡市広域市町村圏事務組合消防長)	2
第29回全国消防操法大会に向けて (市川市消防団)	3
第29回全国消防操法大会に向けて (松戸市消防団)	4
第58回市町村消防長・消防団長会議	5・6
第50回全国消防救助技術大会	7・8
令和4年度「防火・防災ポスター展」表彰式	9～11
わが町の消防団 (銚子市消防団・我孫子市消防団)	12・13
日々の動き	14



勝浦宇宙通信所 展示室 (勝浦市) 夷隅支部

## 巻 頭 言

## 「現場対応能力の強化」

安房郡市広域市町村圏事務組合 消防長 根本 弘



安房郡市消防本部は千葉県の南端に位置し、太平洋と東京湾の玄関口の浦賀水道に面する異なった海に囲まれ、美しい海岸線と緑豊かな温暖で風光明媚な地域です。

令和2年からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、他の地域と同様に観光客の激減により関連業界に甚大な影響が出ています。そんな中、1棟貸の宿泊施設やグランピング施設の開業が多くなり、観光客が当地方に訪れ賑わいを取り戻すことが期待されます。

当消防本部は、昭和47年4月1日に発足し、現在は3市1町で構成されています。管轄面積576km<sup>2</sup>は千葉県総面積の約11パーセントを占め、人口は11万6千人で、1本部、2消防署、5分署、5分遣所を配置し、安房郡市消防本部基本構想及び推進計画による津波被害を想定した庁舎の高台移転も令和3年度に完了し、職員276名、消防車両37台の体制で「住民にやさしく災害に強い組織づくり」を目標に地域の安全・安心を担っています。

近年、職員の大量退職により現場経験の少ない職員が増えている現状を踏まえ、各種災害への現場対応能力を向上させるため、定期的に所属ごと実践的な訓練を企画から検証まで行っています。この訓練を行うことで、職員一人一人が危機管理意識及び安全管理意識を常に持つことにより、若手職員だけでなく、ベテラン職員も含め組織全体の現場対応能力の底上げにも繋がっています。

また、火災件数の減少に伴い、火災原因調査に不慣れな職員も増える現状を打破するため、経験年数に応じた火災原因調査研修会を実施しています。この研修は、本部予防課が企画し署所から選任された講師と火災調査検討委員会の委員が中心となって開催しているもので、この研修会を継続することにより、教える者、教わる者が互いに尊厳を持ち合い、消防職員である以上どのような階級や立場であっても、常に学び続ける姿勢が重要であることも養われています。

今後も長期化する新型コロナウイルス感染症への対応のなか、近年激甚化する自然災害や複雑多様化する各種災害から、住民の生命身体財産を守ることが消防の最重要責務であることを常に認識し、自己研鑽を怠ることなく、関係機関と連携し訓練を重ね、更なる現場対応能力の強化を目指して行きたいと考えております。

## 第29回全国消防操法大会出場に向けて

### 市川市消防団

第58回千葉県消防操法大会は令和4年7月30日(土)、晴天に恵まれ晴れて3年ぶりに開催にされました。市川市消防団は、ポンプ車の部、小型ポンプの部ともに支部大会を勝ち抜き、全国大会へのアベック出場を目指し日夜訓練に励んで参りました。

大会本番は、日頃の訓練成果を遺憾なく発揮し、素晴らしい演技のうえ以下のとおり輝かしい成績を収めることができました。

ポンプ車の部 最優秀賞 個人の部で最優秀2番員及び3番員を受賞

小型ポンプの部 優良賞 個人の部で最優秀1番員を受賞

全国アベック出場は叶いませんでしたが、ポンプ車の部では初の全国大会出場を勝ち取り、本市消防団として2度目の出場を果たしました。

コロナ禍での開催となり、運営役員の方々、またご支援いただいた方々、多くの皆様のおかげで偉業を成し得ることができました。

来る10月29日に開催されます全国消防操法大会においても、サポートしていただく皆様への感謝を忘れず、千葉県代表として最高の舞台となるよう消防団、消防局ともに一致団結し念願の「全国制覇」に向けより一層精進して参ります。



## 第29回全国消防操法大会出場に向けて

### 松戸市消防団

令和4年7月30日(土)千葉県消防学校において、第58回千葉県消防操法大会が開催され、小型ポンプ操法の部に東葛飾支部を代表して出場した松戸市消防団五香方面隊第25分団が最優秀賞を獲得し、来る令和4年10月29日(土)同会場で開催される第29回全国消防操法大会に出場することとなりました。

第25分団は、令和2年度からコロナ禍において2年連続で全国消防操法大会が中止となるなか悲願である全国大会初出場を目標に、厳しい訓練を重ねて参りました。

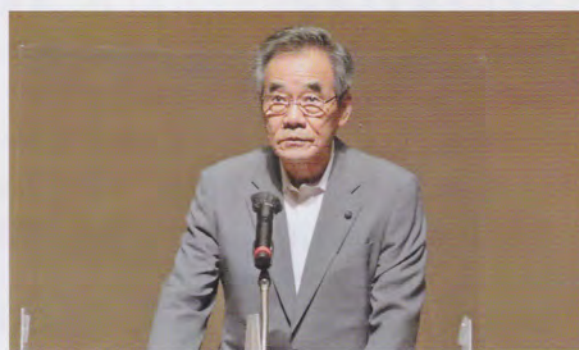
全国大会では、これまでの訓練成果を遺憾なく発揮し、全国制覇を目指す所存です。



## 第58回市町村消防長・消防団長会議の開催

8月10日(水)午後、第58回市町村消防長・消防団長会議が、市原市の市原市民会館大ホールで、県下市町村から消防(局)長と消防団長等約150名の出席により開催されました。

会議冒頭、来賓(生稲県防災危機管理部長、下重日本消防協会業務部長、室田県消防課長、小平消防学校長)並びに主催者(石橋消防協会会長、白井副会長、芝岸副会長、安達副会長、吉野副会長、池田副会長)の紹介がされ、引き続き、去年の消防長・消防団長会議以降、新しく就任された消防(局)長・消防団長26名の紹介が行われました。その後、芝岸消防協会副会長の開会の言葉、石橋千葉県消防協会会長の主催者挨拶、千葉県知事(代理 生稲防災危機管理部長)及び日本消防協会長(代理 下重業務部長)の来賓祝辞がなされました。



石橋会長



生稲防災危機管理部長



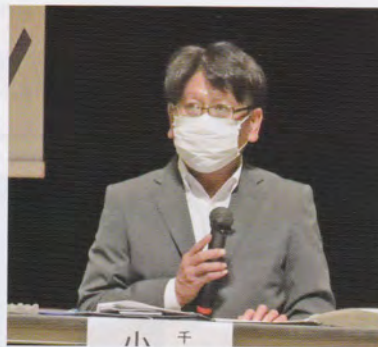
下重日本消防協会業務部長

議事は、石橋協会長が議長となり進行され、最初に、室田消防課長による防災危機管理部各課の説明が行われ、その後、小平消防学校長による消防学校の説明に続き、下重日本消防協会業務部長から消防団員確保対策等の説明がなされ、最後に、鈴木専務理事から千葉県消防協会の事業概要等の説明が行われ、議事は無事終了しました。





室田消防課長



小平消防学校長



鈴木専務理事

休憩後には、四街道市危機管理監の澤島博氏による「東日本大震災での千葉県浦安市の被害と教訓をいまに生かす」と題する講演が行われました。澤島先生は1977年に防衛大学校を卒業され、自衛隊に36年4ヶ月間奉職された後、2010年に浦安市危機管理監となられ5年8ヶ月間勤務し、その内5年間は東日本大震災の対応の日々を送られました。その後2017年に四街道市長の要請を受け、四街道市危機管理監となり、現在6年目を迎えております。



澤島博講師

講演では、防災には過去の災害の学び直しが大切であることから、浦安市において危機管理監として経験された東日本大震災震災直後の応急対応から復旧・復興に至る

一連の自助・共助・公助の活動状況、更に当時の課題や教訓等について映像を交えて紹介がされました。

まとめとして、自然災害の現実を踏まえると、いつか自分たちの「まち」も被災地となる。

防災とは、人とまちに対する愛情であり、平時から「防災」をまちの「文化」として定着させ、災害時に自助・共助・公助などが連携し、消防も市町村を越えて協力し合い、大切な人とまちを守り、また被害を最小限に食い止めたいと話されました。

最後に、地球温暖化は豪雨災害や土砂災害を頻発・激甚化させ、更に南関東（首都）直下地震や南海トラフ巨大地震などによる大震災が切迫しており、風水害、震災、更に富士山噴火等が重なる複合災害も懸念される。しかしながら自治体職員や住民等の多くは災害に対する認識がまだ低く市町村の公助の要である皆様には、自治体職員や住民等に防災への備えの必要性を説き、また防災・

消火の訓練でのアドバイスをさらに推進して頂き備えることで救える命が多くあるとの解説がされました。

講演後、安達消防協会副会長の閉会の言葉で会議は終了しました。



## 第50回全国消防救助技術大会 千葉県消防長会

財団法人全国消防協会主催による第50回全国消防救助技術大会が8月26日(金)東京都立川市において開催されました。

この大会には、全国9地区支部(723消防本部)から選抜された957名の隊員が出場し、陸上の部8種目(基礎訓練2種目・連携訓練5種目・技術訓練1種目)、水上の部8種目(基礎訓練2種目・連携訓練5種目・技術訓練1種目)において、日頃の訓練成果を競い合いました。

本県からは、陸上の部7種目に6消防本部(局)35名、水上の部の2種目に3消防本部(局)4名の隊員が出場し、全ての種目に入賞いたしました。ご声援有難うございました。

### 出場種目及び隊員

#### 陸上の部

##### ☆ 基礎訓練



◎はしご登はん(1名)  
・山武郡市広域行政組合消防本部  
消防士長 田部 純護



◎ロープブリッジ渡過(1名)  
・千葉市消防局  
消防士長 泉 達也

##### ☆ 連携訓練

##### ◎引揚救助 (2チーム:10名)



・山武郡市広域行政組合消防本部  
消防士長 林 航平  
消防士長 瀧邊 俊希  
消防士長 斉藤 正剛  
消防士 麻生 和輝  
消防士 大柴 悠人



・佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部  
消防司令補 土屋 清幸  
消防士長 森谷 佑介  
消防士長 青山 純士  
消防士長 中村 大佑  
消防士長 川名 篤磨

##### ◎ロープブリッジ救出 (2チーム:8名)



・千葉市消防局  
消防司令補 新保 徹  
消防士 永塚 蘭斗  
消防士 菅原 健吾  
消防士 狩野 誠也



・松戸市消防局  
消防士長 山田 弘明  
消防士長 根岸 駿  
消防士長 矢ノ倉 将志  
消防士長 藤山 光

◎ロープ応用登はん (1チーム：2名)



・流山市消防本部  
消防士長 伊藤 竜太  
消防副士長 小林 涼平

◎ほふく救出 (1チーム：3名)



・成田市消防本部  
消防司令補 山口 惇一  
消防士長 中村 仁  
消防士 大橋 真樹

◎障害突破 (2チーム：10名)



・千葉市消防局  
消防士長 林 直孝  
消防士長 鈴木 康介  
消防士 秋山 弘貴  
消防士 伊藤 陽平  
消防士 石橋 陸



・成田市消防本部  
消防司令補 櫻井 真吾  
消防司令補 村松 博文  
消防士長 布留川 拓耶  
消防士長 菅澤 周太  
消防士長 大森 脩登

水上の部

☆基礎訓練

◎複合検索 (2名)



・千葉市消防局  
消防司令補 並木 悠



・市川市消防局  
消防士 小林 翔易

◎基本泳法 (2名)



・船橋市消防局  
消防士 堀内 敦貴



・市川市消防局  
消防士 篠原 優太

今後も、県下消防は関係機関と一致結束を図り、市民の安全・安心に向け尽力して参りますので、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。



## 令和4年度「防火・防災ポスター展」表彰式

千葉県・(公財)千葉県消防協会・千葉県少年婦人防火委員会

県下の小学生と中学生に制作過程を通じて防火・防災への関心と理解を深めてもらうとともに、優れた作品を紹介することによって県民の防火・防災思想の普及啓発を図ることを目的として、千葉県、(公財)千葉県消防協会及び千葉県少年婦人防火委員会の主催により、県下の小中学校の児童・生徒から募集した防火・防災に関するポスター展の表彰式が、8月23日(火)千葉県庁本庁舎5階大会議室において受賞者、受賞者の保護者等の御臨席のもと開催されました。

本年度は、県内34の小・中学校から1,273の作品が寄せられ、厳正な審査の結果、最優秀賞には、小学生低学年の部で野田市立岩木小学校3年儲呈杞さん、小学生高学年の部で佐倉市立白銀小学校6年天谷芽唯さん、中学生の部で柏市立逆井中学校2年武田真宙さんが受賞され優秀賞に習志野市立津田沼小学校3年福七輝さんの作品外5点、千葉県消防協会長賞には茂原市立茂原小学校1年武田莉歩さんの作品外5点、千葉県少年婦人防火委員会長賞には茂原市立茂原小学校1年岡本絆那さんの作品外5点が選ばれ、それぞれ表彰を受けました。



穴澤副知事



石橋消防協会長



# 受賞作品

## ◆知事表彰

### ☆最優秀賞



野田市立岩木小学校 3年  
儲 呈杞



佐倉市立白銀小学校 6年  
天谷 芽唯



柏市立逆井中学校 2年  
武田 真宙

### ☆優 秀 賞



習志野市立津田沼小学校 3年  
福 七輝



長柄町立長柄小学校 2年  
吉原 里莉



東金市立東小学校 5年  
五木田 あかり



東金市立東小学校 5年  
武川 咲良



習志野市立第一中学校 2年  
筑波 春陽



習志野市立第一中学校 2年  
川村 奈央

◆ (公財) 千葉県消防協会長賞



茂原市立茂原小学校 1年  
武田 莉歩



習志野市立津田沼小学校 3年  
椎名 晟雅



横芝光町立横芝小学校 5年  
角田 麗羽



習志野市立津田沼小学校 5年  
長谷川 紗奈



鎌ヶ谷市立第五中学校 3年  
遠藤 美嘉



柏市立逆井中学校 2年  
原田 峻輔

◆ 千葉県少年婦人防火委員会長賞



茂原市立茂原小学校 1年  
岡本 絆那



習志野市立津田沼小学校 3年  
鵜澤 葵



船橋市立行田西小学校 5年  
竹林 真穂



山武市立山武北小学校 4年  
加瀬 くるみ



鎌ヶ谷市立第五中学校 2年  
鈴木 穂乃加



八千代市立萱田中学校 2年  
加藤 遙

## わが町の消防団 ① 銚子市消防団

銚子市は、千葉県最東端に位置し、北は利根川、東と南は太平洋に面し三方を水に囲まれ、人口約5万7千人、平成23年から11年連続で全国水揚げ量日本一の銚子漁港や歴史と伝統を実感できる醤油工場、さらには、これらの産業基盤から産出される豊富で新鮮な食材や特産品を備えるなど、多くの地域資源に恵まれた魅力あるまちです。また、屏風ヶ浦を望む銚子市沖は、年間を通じて強い風が吹き遠浅な海が続く恵まれた自然環境であることから、洋上風力発電事業が進められています。

銚子市消防団は、芝岸弘団長以下448名、団本部と10個分団36部で消防ポンプ自動車17台、小型動力ポンプ付積載車19台、多機能型消防自動車1台を保有し、地域防災のため、災害防御活動を行っています。

年間の主な活動は、4月の辞令交付式及び規律訓練6月に操法大会及び機関員講習、12月に津波災害対策訓練等を実施しています。特に津波災害対策訓練は、



海岸に面している地域柄重要な訓練であり、退避路を複数確保し、情報確認に努めながら沿岸部の警戒及び避難広報活動の実施、さらに団本部による情報収集と情報伝達及び部隊運用等を実施しています。



平成27年発足の女性と学生の26名で構成された第11分団は、防災意識の啓発を図る夜警活動や簡易消火栓の取扱い指導、さらには外傷教育コースを受講するなど、女性の視点や学生の柔軟な行動力を活かし活動の場を拡げています。津波訓練では避難所運営補助を担当し、避難者名簿の作成、応急手当、避難所設営の実動訓練を実施します。昨年度は、新型コロナウイルス感染症のワクチン集団接種会場での、誘導や補助等の協力活動も実施しました。

銚子市消防団も、年々団員数が減少傾向にあるため、市内各戸へ消防団活動の理解を深めるチラシの回覧、独自のポスターの製作、市内商業施設でイベント開催時、消防団員募集のブースを設ける等団員の確保に努めています。



近年、災害による被害が甚大化しており、社会生活への影響がかなり深刻となっている中、消防団への期待と役割も大きくなっています。今後につきましても、自らの地域は自らが守るという精神に基づき災害に強い銚子を目指してまいります。

近年、災害による被害が甚大化しており、社会生活への影響がかなり深刻となっている中、消防団への期待と役割も大きくなっています。今後につきましても、自らの地域は自らが守るという精神に基づき災害に強い銚子を目指してまいります。



## わが町の消防団 ② 我孫子市消防団

我孫子市は、南に手賀沼、北に利根川そして古利根沼に囲まれ、東西に国道356号線が横断しております。大正から昭和初期にかけては、「北の鎌倉」と呼ばれた風光明媚な手賀沼のほとりに志賀直哉、武者小路実篤といった近代日本文化史に名を連ねる多くの文化人が住居や別荘を構えていました。当市は、豊かな水と緑に恵まれ、JR我孫子駅から上野駅まで約35分の近距離に立地していることから、首都圏へ通勤する人々の住宅地としての役割が大きくなっており、今後も発展が見込まれます。

我孫子市消防団は、昭和30年4月に我孫子町、布佐町、湖北村が合併して我孫子町となり旧町村ごとに支団制を敷き3支団22個分団で、新組織のもと消防団が誕生し、昭和45年7月の市制施行に伴い我孫子市消防団となりました。

当市消防団は、鈴木 誠消防団長以下228名（令和4年4月1日現在）で、1団本部、6方面21個分団の体制で、消防ポンプ自動車4台、小型動力ポンプ付積載車17台を配備し、昼夜を問わず消防団活動を行っています。

近年の活動状況にあっては、当市においても新型コロナウイルス感染症の影響により、消防団活動が制限される状況が続きました。このような状況下でも、災害に備えた消防団員の訓練は必要となりますので、訓練参加団員の体調を管理するための感染防止チェックシートの提出や消防団活動用に購入した感染防止資材を活用しながら感染予防対策を施し、新入団員等への初任訓練や規律訓練を実施しました。



その他、当市は、手賀沼と利根川が接しているため、隣接する柏市と合同で実施しております我孫子市・柏市共催水防演習を今年度は、3年ぶりに我孫子市内の利根川河川敷にて実施しました。演習では、利根川の増水を想定し、堤防等の越水を防ぐ「積み土のう工法」、決壊を防ぐ「月の輪工法」等の伝統的な工法と消防職員と連携を図りドローンによる堤防漏水箇所の検索活動を取り入れた水防演習を6月に実施しました。

また、当市消防団員の中には応急手当指導員の資格を取得し、当市で開催する救命講習会等で消防職員とともに指導員として大活躍している団員もおります。



近年、複雑多様化する災害や大規模な地震及び地球環境の変化による台風の接近や集中豪雨による自然災害等が、今後増加すると危惧されている中、広範囲に被害を及ぼす災害において、地域の防災を担い勇猛果敢に活動する消防団は無くてはならないものであり、消防団への期待は、益々高まっております。歴史ある我孫子市消防団の草創期の消防団員から築きあげてこられた地域の消防体制と「我が街は我々で守る」の精神のもと、住民に最も身近で地域に根ざした消防機関の地域防災リーダーとして、我孫子市民の安全・安心を守るため、消防団員が一丸となり活動してまいります。

# 日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

## 令和4年10月・11月

- |     |         |                       |
|-----|---------|-----------------------|
| 10月 | 23日     | 第43回九都県市合同防災訓練(大網白里市) |
|     | 29日     | 第29回全国消防操法大会(千葉県消防学校) |
| 11月 | 15日     | 第58回消防殉職者慰霊祭(千葉県消防学校) |
|     | 19日・20日 | 消防団員指導員研修(千葉県消防学校)    |



**2022年度 全国統一防火標語**  
**「お出かけは マスク戸締り 火の用心」**

**令和4年 秋の全国交通安全運動**  
 9月21日(水)から9月30日(金)までの10日間  
**9月30日(金)は「交通事故死ゼロを目指す日」です**  
**スローガン**  
**～知らせ合う 早めのライトと 反射材～**

### <表紙の説明>

#### 勝浦宇宙通信所 展示室 (勝浦市) 夷隅支部

勝浦市にある、JAXA（国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構）の勝浦宇宙通信所では巨大な4基のパラボラアンテナでさまざまな人工衛星からの電波を受信し、位置・向きや軌道など正常に動いているか、チェックや指示を行っています。

4月、そんな勝浦宇宙通信所が展示室のリニューアルを行いました。

展示品には人工衛星や、回収された国産ロケット外装の実物見本、実際に使われていた管制卓など、宇宙航空開発の現場に直接触れて楽しめる見所がたくさんあります。

また、有名な小惑星探査機「はやぶさ」が達成したミッションを体験できる「はやぶさシミュレータ」など体験型教材も展示。

リニューアルした勝浦宇宙通信所へ訪れてみてはいかがでしょうか。

